

## 令和3年度 第1回がまごおり協働まちづくり会議議事要旨

日 時 令和3年7月15日(木)

午前10時～

Web会議システム(Zoom)にて実施

### 1 開会

事務局より、配布資料の確認、委員委嘱について及び委員の交代について説明  
欠席者等の報告

がまごおり協働まちづくり会議について説明

### 2 議題

#### (1) 会長・副会長の選任について

○吉村委員が推薦され、吉村委員が会長に選任された。

○副会長は、金子委員が指名された。

○委員及び事務局の自己紹介

- ・交代となる委員の方とも引き続き関わりを持っていきたい。
- ・協働まちづくり課やまちづくりセンターの取組を資料にまとめてほしい。
- ・委員各位の取組、活動を共有していきたい。

#### (2) 令和2年度協働まちづくり事業について

事務局より、令和2年度の協働まちづくり会議の振り返りとして、助成金制度について、モデル事業について、まちづくり賞について、協働まちづくり指針について説明

- ・自治体における市民活動助成に対する応募状況は必ずしも積極的ではない状況である。クラウドファンディング等を使って自分で資金を調達する活動も増えてきている。

#### (3) 令和3年度協働まちづくり事業について

事務局より、助成金採択団体(蒲郡若者議会、がまごおり地域猫活動)の状況について、協働モデル事業(若者支援、人材育成)について説明

○蒲郡若者議会について

・各グループの政策内容について

観光委員会では、地域と調和した観光地を目指し、グルメ、特産品について政策を検討している。

娯楽委員会では、東海地区でふらっと寄りたくなるまちを目指し、アートとアクティビティのイベントを行う政策を検討している。

子供委員会では、のびのびと子供たちが遊べるまちを目指し、公園などでできることのマッピングを作成する政策を検討している。

福祉委員会では、高齢者のコミュニティが豊で健康増進に優れたまちを目指し、絵を描く、ティクトックを一緒にやるなど、若者とのコミュニケーションを図る政策を検討している。

地域委員会では、温泉のまち蒲郡に焦点を当てる政策を検討している。

- ・市の政策へということよりも、自分たちのやれることを楽しみながらや

っていこうということが活動の趣旨であったと思う。

- ・JCの人など、新たな世代の人たちが地域課題を考えるきっかけにもなっている。
- ・福祉分野について、コロナ渦において、高齢者の中では人と話さなくなったことで外に出られなくなってしまった人もおり、高齢者が背伸びしなくてもいいような方法で関わっていただけるとよい。
- ・活動の継続を考えると、子どもたちをいかにつなげていくかが大事ではないかと思う。  
取組を小学校や中学校に発信することで、次の世代が興味を持ってもらえるような工夫があるとよい。
- ・若者議会の議員たちは、蒲郡が好きで、好きなまちを良くしたいという思いが強い。
- ・若者議会、地域猫活動共に素敵なホームページができていますので、拡散していきたい。

#### ○若者支援協働モデル事業について

- ・小学校でもタブレットを使って授業をしているが、学生のボランティアに支援を得られるとよいと思う。学生のボランティアの窓口が分からないが、こういった教育の困りごととつながるとよい。
- ・ボランティアについて、様々な分野のボランティアをつなぐ総合窓口があるとよい。
- ・福祉系のボランティアは危機的状況にある。横のつながりによって活性化につながるのではないかと思う。
- ・色々な世代や目標のある方が相談できるプラットフォームをどう構築していけるかを考える必要がある。  
併せて、お互いの関係性の構築をすることで思いをくみ取った対応が可能となると思う。
- ・学校へのボランティアの相談については、学生課が窓口になると思う。
- ・学生がボランティアをしたいとなったときに、何でもいいのではなく、それぞれ思いがある。マンパワーとしてではなく、共に何かをやっていくことを含めて考え、多様な思いと多様な必要としている人たちがうまく重なり合える仕組みを検討できればと思う。
- ・学校では、令和6年にコミュニティスクールとなることを目指し、地域学校共同活動をモデル校（西浦と蒲中地区）で始めており、今後、地域の人材を活用して様々なことをやっていくことになる。  
例えば、小学生に障害の方との接点を持たせ、その中でボランティア活動としてこんなことをしているなどの紹介ができれば、学校からも支援の依頼があり、つながることができるのではないか。  
活動を一覧化してもイメージが分からないので、実際に子どもたちに見せ、知ってもらうことから、将来的に興味を持ってもらえ、参加してもらえるようになるといい。
- ・自分たちがやっている活動内容を知ってほしいと思っているが、中々知ってもらえない現状があることが残念だ。

(4) 助成金応募状況について

事務局より、助成金の応募状況について説明

- ・助成金をめぐる状況は変わってきている。手続きや要する時間を考えた場合に別のやり方でもいいのではとの考え方もある。
- ・コロナ渦で、会議の場所が限られおり困っている。借りられる会議室の紹介をしてもらえると助かる。

(5) 新しい協働まちづくり指針の作成について

事務局より、協働まちづくり指針の経緯について、今後の進め方について説明

- ・ワーキングで議論すべき項目について、別途委員から意見を伺った方がよい。
- ・様々な機会で見つけたこと、気になったことを含めて考えていけるとよい。
- ・JC や YEG など、企業がどんな形で関わっていただけるかについても意見をもらいたい。
- ・地域のお役ではなく、みんなが楽しめるイベントとして活動を続けていくためにはどうしたらよいかなども相談したい。

3 その他

次回開催時期について

令和3年9月22日(水) 午前10時から対面及びオンラインでの開催を予定